

公共の意義や役割を理解し、公共への関心を高めたい方に

公的年金の秘密を探究し 公共とつながろう

若者に「年金ってなに?」と聞くと、「年を取ったらもらえるお金」という答えが返ってきます。金額は気になるようですが、誰が運営しているのかは関心が薄いようです。個人年金等の私的な年金があるのに、どうして政府が関与する公的な年金を必要とするのでしょうか?年金を事例に、市場社会における公共の役割を学びます。



阿部 公一 教授

- 出張講義分野
公的年金・社会保障、キャリアデザイン
- 研究分野のキーワード
公的年金・社会保障、公共、キャリアデザイン
- 専門分野
年金教育、キャリア教育

大学ではこんなことを研究しています

公的な年金である国民年金には、保険料の未納や滞納問題といった社会的課題が付随します。さらに、将来、無年金・低年金高齢者という2次的な社会課題をもたらすばかりでなく、地域経済にも影響を及ぼす恐れがあります。この深刻な社会的課題を未然に予防することはできないのでしょうか?厚生労働省の「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務めた経験から、解決策の一手法として、年金広報政策の重要性を再認識し、年金広報教育の在り方や、若年層を対象にした教材開発研究を進めてきました。

先生からメッセージ

公益学部公益学科政策コースに所属し、「公的年金論」「社会保障論a」「社会保障論b」「政策入門」「プロジェクト型応用演習(国民年金加入行動啓発プロジェクト)」「プロジェクト型応用演習(二十歳の集い応援プロジェクト)」「基礎演習」「探究演習」「キャリアデザインa」「キャリアデザインb」「企業研究セミナー」の科目を担当しています。『国民年金加入行動啓発』『年金ディベート道場』『令和の年金広報コンテスト』のKeywordを検索してみてください。演習科目を通じて作成した年金教育用動画を視聴することができます。

略歴 明治学院大学大学院経済学研究科修士課程修了。修士(経済学)。
短大教員を経て、2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2013年4月より現職。
厚生労働省年金局の依頼により、「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務めた。